

第 21 回日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会

ご挨拶

第 21 回日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会は、2022 年 10 月 8 日(土)・9 日(日)に、WEB 配信とのハイブリッド形式での開催を予定し、準備を進めております。

日本先進糖尿病治療研究会は 2001 年にインスリンポンプ治療研究会として設立され、その後インスリンポンプだけでなく、持続血糖測定器や新しい作用機序の糖尿病治療薬など、糖尿病の最新医療全般を推進する研究会として活動してきました。一方、2003 年に発足した 1 型糖尿病研究会は、1 型糖尿病の基礎・臨床研究を通して、疫学、遺伝、自己免疫の病態解析や発症予防法の開発に取り組んできました。両研究会は 2018 年以降合同開催となった後、2022 年より合同開催時の研究会名を「日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会」に変更することが決定し、ともに手を携える新たな段階に立っています。

2021 年の合同研究会では、「インスリン 100 年」をテーマとして、インスリン発見 100 年の歴史を未来へ繋げる思いが込められていました。今回は更にその一歩先の次世代を見据え、「1 型糖尿病研究と臨床の新たなステージへ ～beyond insulin～」をテーマといたしました。今後の次なる 100 年に向け新たなステージに入った先進糖尿病治療の研究、1 型糖尿病の基礎・臨床研究、そしてその臨床治療への応用に光を当て、研究者と治療者が深く議論できる情報交換の場としたいと考えています。

今回のトピックでは、海外の招聘者も含めた特別講演や若手研究者のための YIA セッション、合同シンポジウムや教育講演、ハンズオンセミナーなどを準備しています。感染状況にもよりますが、いずれもコロナ後のスタンダードとなった WEB 配信を併用し、遠隔地でも多くの参加者にご覧頂けるよう情報を発信する予定です。市民公開講座では、糖尿病と闘いながら活躍されているアスリートをお招きし、市民や患者さんに向けた講演を行って頂く予定です。

今回、現地会場となります神戸市は、六甲山と神戸港という海と山に囲まれた地形から、屋外スポーツやレジャーも盛んで風光明媚な行楽地でもあります。秋晴れも爽やかな神戸の地で、活発な議論と交流が行えるよう企画しております。皆様のご参加をお待ちしております。

2022 年 2 月吉日

第 21 回日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会

当番世話人 広瀬 正和

(D Medical Clinic Osaka 院長)

会長 安田 尚史

(神戸大学大学院保健学研究科 教授)